

別紙 1 (報告様式)

農林漁業現地事例情報「食料自給率向上に資する取組事例」

行動計画の項目に基づいた分類：ウ 地産地消の推進の取組

取組名：「しべつまるかじりフェア」開催。

取組主体：しべつまるかじりフェア実行委員会 (北海道・士別市)

1 取組の背景

士別市では多数の団体が、生徒児童を対象とした農業体験やファームイン、ファームレストラン等の取組を行っていた。

平成15年、こうした取組の浸透と農業・農村に対する理解を進めるため、関係団体が、しべつまるかじりフェア実行委員会を組織し「しべつまるかじりフェア」を開催することにした。

同フェアを通じ、個人・団体が交流することで、地産地消やグリーンツーリズムの推進を図るとともに、農業生産と消費のあり方や、環境保全、地域の伝統文化の見直し等、農業・農村の地域コミュニティを作ることを目指している。

2 取組の具体的内容

「しべつまるかじりフェア」は、士別の農業を「見て・食べて・体験しよう」をコンセプトに行われている。

「見る」：市内各小学校で取り組まれている農業体験学習の様子や、市民農園等グリーンツーリズムの取組についてパネル展示を行い紹介している。また、児童が農業体験学習の発表も行っている。

「食べる」：地場産農産物にこだわった料理の試食を行っている。19年のフェアでは、かぼちゃのワッフル、しそゼリー等11品目の料理の試食が行われ、併せてレシピを配付している他、そば打ちの実演、新米・加工品の販売も行っている。

「体験する」：親子料理体験での、りんごパイづくりや餅つき、市内農家の指導によるしめ縄づくり、羊毛ストラップ、コースターづくりなど親子で体験できるイベントを実施している。

3 取組の具体的効果

地場農産物を使った加工品の試食や、羊毛を使ったストラップづくり等により地産地消の推進や地元特産品のPRにつながっている。

フェアへの参加者も増加しており、取組みに対する関心が高まっている。

4 今後の展開方向

「見て・食べて・体験しよう」というコンセプトのもと、今後は生産者と消費者の交流が図れる内容を検討していきたい。

農業生産と消費のあり方や、環境保全、地域の伝統文化の見直し等、農業・農村の活性化を図るとともに「地産地消」や「食育」の取り組みを推進していく。

5 取組に係る問題点と解決策

フェアへの来場者は年々増加しているが、生産者と消費者のかかわりが希薄になり交流が図りにくい状況が起きている。

また、試食がメインのイベントになっており、実行委員会でイベントの内容を工夫し、市民が積極的に参加できるイベントにするため検討をしている。

画像



○市内小学校による農作業体験学習の発表の様子



○地元農産物の加工品の販売



○地元農産物を使った豚汁

【情報収集官署】北海道農政事務所 名寄統計・情報センター

連絡先：01654-2-2357